



田村 計久

湯沢町観光協会へのさらなる支援について

質問

全国的に観光地の入り込みが減少しているが天地位、DCキャンペーンと湯沢町は恵まれた状況にある。

しかし不況の中、目立った観光資源の無い我が町にとっては、厳しい状況が想定され、状況に合わせたタイムリーな宣伝やイベントをおこなう必要がある。

観光協会の活動が重要であり、町の観光施策を推進するためさらに事業の委託や予算の支援ができないか伺う。

町長答弁

この春から業種により差はあるが5%〜10%人込が伸びていて天地位効果と思われる。

基幹産業である観光の底上げは重要で予算の捻出、

行事の見直しで新たなイベントなど取り組みは必要である。観光課との連携で更なる支援強化を検討したい。

JRの好意で湯沢のポスターが首都圏の駅に1、000枚四季に合わせ掲示されるが観光協会との役割分担が功を奏し、成果となった。

質問

観光協会が冬の大型イベントとして総合雪祭りを計画し県の補助を仰いだが採用されなかった。

落ち込みの激しい冬季産業の今後の目玉として期待できるが町が予算支援できないか。

町長答弁

全町あげての雪祭りは必要であると考えます。

産業観光課長補足

観光立町推進事業補助金のなかで内容をつめて対応できるものなら進めたい。

外国人観光客の誘致について

質問

スキー客の落ち込みに対する対策として外国人の誘客は重要で、温泉があり、交通のアクセスに恵まれたわが町は他県のスキー場に比べはるかに優位である。この春、個人の観光ビザが解禁になった中国にターゲットをしぼり、県の協力の下、町として行動を起こしたらどうか。

町長答弁

県と協力して中国、韓国、台湾、ロシアの観光関係者

やエージェンメントとの交流を進めてきた湯沢町インバウンド誘致委員会の動きに期待したい。北京に県の事務所があり資料をおかせてもらうことにしている。私も現地を視察研究した。

スキー場振興協議会要望について

質問

非常に経営が厳しいスキー場協議会よりだされた要望について町長の考えを伺う。

町長答弁

大変厳しい経営状況にあると認識している。借地料の値下げ、固定資産税の期限付き減免など、要望については理解できるが町との関係もあり難しい。スキー産業全体の底上げ

フジロックの今後の対応について

質問

フジロックは11回目の開催となり、このイベントによる我町にもたらす経済効果は非常に大きく、浅貝地区の皆さんの努力もあり今日まで続いてきた。

他の地域からの誘致も多いと聞かれますがまさに湯沢町になくてはならないものになった。これまでの協力体制でよいのか。更なる対応を考えているのか伺う。

町長答弁

今年度の反省会でだされた救護体制、仮設橋の強化、赤湯林道の拡幅、渋滞緩和対策、駐車場対策、などの課題に取り組み信頼関係の構築に努める。

大規模イベントの支援体制についても検討しなければならぬ。

さらに力強く観光事業の支援を

一般

質問

質問